

2023年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘A) 成果報告書

書式 1

(適宜行追加可)

受入担当 教員	所属・職	関西学院大学国際学部・教授
	氏名	櫻田 大造
海外客員 教員	所属・職	Simon Fraser University Political Science Department Professor
	氏名	川崎 剛
招聘目的	1. 授業担当及び研究 2. 共同研究 3. 特別枠 (いずれかに○)	
招聘期間	2023年 4月1日 ~ 2023年 7月 31日	
成果報告 以下の内容を日本語で記載して下さい。	<p>1. 授業担当及び研究</p> <p>(1) 授業科目名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Topics in International Politics A (2単位) →履修者なしのため不開講 ・ Topics in International Politics B (2単位) <p>(2) 授業担当の成果 : Topics in International Politics B (Western Powers in the Indo-Pacific) は英語者向けの政治学科目である。日米韓加仏独の各政府が英語で公表しているインド太平洋戦略文書、ならびに英豪両国のインド太平洋戦略に関する評論を履修生は読みこんだ。主なアサインメントは口頭発表とレポート2本を提出するというものである。当科目を通じて「外交政策文書の読み方・理解の方法」のみならず、西側陣営が現時点で追及しているインド太平洋戦略の全体像を履修生は学んだ。</p> <p>(3) 研究の内容 : カナダ・トルドー政権のインド太平洋安全保障政策——概念分析の試み</p> <p>トルドー政権は2022年11月末、『カナダのインド太平洋戦略』を発表した。中国に対しては、それまでの関与政策から牽制政策へと政権の政策枠組みは大きく転換したというのが通説である。しかし実際には新枠組に十分に含まれていない数々の政策課題があり、これらを含んだより包括的な政策枠組みがカナダのインド太平洋安全保障政策に求められる。そこで、政治学で近年発達してきた概念分析・構築の手法を使って、そのような政策枠組みを構築していこうというのが川崎教授の狙いである。</p> <p>(4) 研究の成果</p> <p>上記研究の下準備として川崎教授は「カナダ・トルドー政権の新アジア安全保障政策——評価と展望」『国際安全保障』2023年6月号を上梓する一方、上で触れた「数々の政策課題」の展開をネット上のオープン・ソースで体系的に追い(定性的)データ収集・分析に努めた(例: 中国政府によるカナダ国内政治工作、北極海をめぐる中国の動向、NATOの対中政策との関連、クワッド・AUKUS参加問題)。同時に概念分析・構築の手法を用いながら「より総合的な政策枠組み」に関する思考を続けたが、国際政治学でいうところの「防御的リアリズム」に基づく枠組みが最も適しているという結論に教授は至った。この成果をもとに、これまでの研究を加えて研究書(英語)を将来完成させる予定である。なお、国際学部教員研究会(7月19日)にて当該研究のねらいと概要を教授は口頭発表したことを付け加えておく。</p>	

受入担当教員が成果報告欄を記入される場合は本書式をお使いください。

* 本報告書は本学ウェブサイト等で公開されます